

Hand in Hand

Vol.254

逐次刊行物

11.1.11

国立女性教育会館
女性教育情報センター

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取り合い、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは、生きやすい社会をめざし支えあう女たちの、流木である。

『新年は都合のいい区切り？』

ハンド・イン・ハンドの会 代表 円より子

最近元旦を迎えてひとつ年を重ねたと数え年で年を数える人は少なくなったかもしれませんね。みなさんはお正月って、どんな気持ちで迎えますか。来し方を振り返り新しい年は気持ちを新たに頑張ろうと思ったり、今年は良い年でありますようにと祈ったり。辛いことの多かった年、反省すべきことの多かった年が過ぎるというのはうれしいもの。同じ時間の流れの中なのに、新年を迎えるというのは反省と後悔の多い私のような人間にとっては、都合のいい区切りです。「今年は絶対怒らない」「マイナス思考はしない」「人のせいにしない」と除夜の鐘を聞きながら指を折り、そして年が明けると「前を向いて進むのみ」「睡眠時間を削ってでも勉強する」「毎日ストレッチをする」「人をほめる」「猫と人にやさしくする」などと心に誓うのです。

とまあ、毎年、年の瀬と元旦に同じことを繰り返してウン10年。どうもちっとも進歩がない。凡人中の凡人ですねえ。多分、ノーベル賞をもらうような人は、ずっと研究を続けていたり、頭をフル回転させているんでしょうにね。

さて、反省と後悔の年を年明けと共に変えたいと神頼みでちっとも反省をしてこなかった私も昨年ばかりは久々に落ち込み、この1年どころか来し方をずーっと振り返り、馬鹿なことばかりして、まわりに迷惑ばかりかけてきたと思い至りました。

そのひとつは母のことです。25年ほど前に夫を亡くし、次女が結婚独立したあとずっと母は一人暮らしでした。「一人暮らしは気楽よ」という言葉に甘えて、私は一緒に暮らそうなどと思ひもしなかったのです。いつも「仕事が忙しい」を言い訳にして。

昨年、私の参院選の落選直後、電話をしても出ないので胸騒ぎがして行ってみると台所で倒れていた。熱中症だと思っていたら脳梗塞。その後、母の家を整理していて、一人暮らしが体力的にいかにつかったかを思い知りました。今、母は入浴・着替えも手伝ってもらい、三食バランスのとれた食事ができる生活を楽しんでいます。個室なので月々のかかりはかなりのものですが、少しばかりながら父の遺産でなんとかなるのありがたいことです。母の入院中に老人ホーム等を探し回ったのですが、地獄の沙汰どころか老後の沙汰も金次第なんですねえ。有料老人ホームの入居金の高さ、特養の待機の多さ等々、知識はあったものの現実の厳しさを痛感しました。

働くことは生きることと思って死ぬまで働くつもりですが、でも動けなくなる時がくる。そういう時、誰もが安心して自分らしく生きていける場を作らなければ。今年はこのこともテーマにして活動するつもりです。



Vol.254 目次

- ◆円より子メッセージ
「新年は都合のいい区切り？」…1
- ◇《新春対談》和泉育子 vs 円より子
「自分に出会い、道を切り拓く」…2
- ◆円より子の
「のんびり歩こうニコニコらいふ」…4
- ◇会員さんからのお手紙ご紹介…5
- ◆ハンドの会活動報告…6
- ◇弁護士 110 番…7
- ◆告知板…8

Hand in Hand

TEL 03-3261-1835

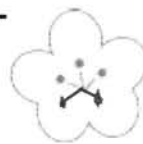
Hand in Hand 第254号

【発行日】2011年1月1日

【発行人】ハンド・イン・ハンドの会（代表 円より子）

【スタッフ】倉林佐也子 長島千春 満木葉子

次号の発行は3月初旬です



【新春対談】和泉育子 vs 円より子 「自分に出会い、道を切り拓く」

2011年も経済的に厳しく、なかなか明るい話題がありません。なんとかひとりひとりが自分の手で自分の道を切り拓いていくためには、まず自らを知ること。そのうえでどういうふうに切り拓いていくといいのかを、年の初めに考えてみませんか？円代表と親交が深く、エニアグラムのスペシャリストでいらっしゃる和泉育子さんと、自ら気づき、自ら変えていく方法について対談をしました。

和泉 育子 (いずみ いくこ)

NPO法人日本エニアグラム学会
スーパーバイザー

神戸生まれ。1970年からマーケティングの分野で独立。プロのグループインタビューアーとして、大手企業、シンクタンク、広告代理店などの依頼による仕事をこなしてきた。現在は、エニアグラム研究家として、幅広く活躍中。

主な著書『やってみようエニアグラム』(日本能率協会)『インタビュー作法』(産能大出版部)『はじめての人間関係ノート』(明日香出版社)『リーダーズノート エニアグラム』(明日香出版社)『できる上司の聞く技術』(中経出版)『別れるときの愛』(幻冬舎ルネッサンス)

◆公式ブログ

<http://ameblo.jp/izumi-salon>



◆◆◆ごぶさたしています◆◆◆

円 ごぶさたしています。お元気でした？

和泉 7月に持病の治療で入院して、最近あまり遠出をしてないんです。

円 そんな中来てくださってほんとうに嬉しいわ。私たちはかれこれ30年のおつきあいですね。

和泉 円さんとは感性があうので響き合うところがあって、いつも前置きなしで話してきたような気がします。

円 今日は自分に出会って道を切り拓くにはということでお話をするのですが、ご自身がまさに道を切り拓いてきましたよね。

◆◆◆生きることで、鍛えられた◆◆◆

和泉 50年も前になりますが、思春期から10年近く結核の治療で、一都三県を転々として病院生活を送りました。同じ病室の人やお医者さまたちが人生の教師で、生きるか死ぬかの瀬戸際の人たちの発言も聞いているわけです。ずっと生死がそばにある日々でしたからね。

円 そんな過酷な状況から、今のよう活躍をされるようにどうしてなれたのでしょうか？

和泉 20代で「泣いても何も解決しない」と悟りました。ターニングポイントはそのときに与えられたテーマで、それを乗り越えることで強くなれます。生きることで鍛えられたんです。もう後期高齢者ですがこんなに生きると思いませんでしたよ(笑)。

円 いまだにそんなふうに悟れません。どうして私ばかり不幸なのかしらとたいていの人は思いがちですね。和泉さんは精神力で乗り越えてきたんですね。

円 より子 (まだか よりこ)

現代家族問題研究所代表

民主党前参議院議員

津田塾大学英文科卒業後、ジャパンタイムズ編集局勤務を経て、フリージャーナリスト・作家。女性と家族の問題に関する著作30冊以上。

1979年に離婚をひとつの社会問題としてとらえ、女性のおかれている状況や法・制度を変えようと「ニコニコ離婚講座」を始めるなど、離婚問題・家族問題の先駆け。1993年より参議院議員を3期務め、民主党副代表、参議院財政金融委員会委員長などを歴任。国全体の政治経済の仕組みを変え、女性や子ども、高齢者が生きやすい社会、男性が長時間労働から解放される仕組みをつくりたいと精力的に活動中。

◆公式サイト

<http://www.madoka-yoriko.jp/>

和泉 人生の先輩たちからたくさんの贈り物もらってきました。これからは自分が贈り物をしたいという気持ちでエニアグラムを伝えています。

◆◆◆自分と出会う◆◆◆

円 母が病気になってからすっかり我儘になって、悪いところがみえるようになって…私も同じ性格だと暗い気持ちになることがあります。

和泉 年をとると根元的にもっているものが出てくると聞きました。基本的な性格は変えられませんから。ただ、親子でも性格は違いますよ。

円 性格はどうやって決まるんですか？

和泉 お母さんのお腹の中にいるときに決まっているとアメリカ人の学者から聞きました。その後で親や保護者から叱られたりすると、子どもなりに警戒心が芽生えて行動規範を作り、生きやすい方法を見つけていく、性格が形成されます。

円 私なんて、自分はこういう性格だって人に言われると反発します。

和泉 村上春樹も何かの本で「人は自分のことは半分しか分らない」と書いていましたね。人の心は三層構造になって



★・ハンド・イン・ハンドの会とは★・★

離婚を考える人や母子家庭のネットワークです。1979年3月、代表円より子(まだかよりこ)が離婚を人生のひとつの選択肢と捉え、女性が生きやすい社会を実現するためハンド・イン・ハンドの会の母体となる「ニコニコ離婚講座」を開いたのが始まりです。「離婚110番」や「ニコニコ離婚講座」の開催、会報誌の発行を通しての正確な情報提供、夏合宿や忘年会、おしゃべり会など仲間作りの支援、法制度改正の働きかけなど社会変革を実現するための活動をしています。

公式サイト：<http://www.gendai-kazoku.jp>



女性の力を活用し子育てを支援する

NPO法人あごら

NPO法人あごらは、雇用不安、生活不安を抱える人々、とりわけ、ひとり親家庭の母親に対して、就労や子育ての相談を行うとともに、在宅によるパソコンを使った地図や図面の入力技術の習得と就労保障を柱に、在宅業務支援、経済的・精神的ケア等の自立支援を行い、将来をにう子どもたちを応援します。円より子はあごらの創設者のひとりです。

公式サイト：<http://npa-agora.org/>

いて、1階はリビング、つまりパブリックスペース。2階は自分の部屋、ここまでは本人も知っている。そして地下室には鍵をかけて忘れている。この地下の鍵を開けることが心を開くことにつながりますが、人って頭は使っても心を使いたくない、頭でしか知ろうとしない人は心や感情には触れたくない。またすぐ感情で物事をキャッチするくせの人は、冷静になって頭を使うのが後になります。自分の存在を示すために、まず力をみせるやり方もある。こうして一か所だけ使って、あとは無意識に忘れているところは案外あるんです。

円 どうしたらその鍵を開けられるんですか？

和泉 これは教えられてもダメなんです。自分で感じて、考えて、気づかなくっちゃ。エニアグラムは自分のよさを掘り起こすことができます。たいてい使いやすいもののばかりを使いがちなのですが、気づいていない自分のいいところをもっとあるんです。エニアグラムはそれぞれが自分に与えられた資質に気づき、磨いていくためのものです。

◆◆◆目に見えない保有財産◆◆◆

和泉 仮にこんな問いをしてみましょう。あなたが所持の財産は何ですか？

★読者のみなさんへ：先に読み進む前に

「わたしの財産」を書き出してみてください★



和泉 こう質問すると、たいていの人が家とか貯金とか、あと女性なら子どもって書く人が多いです。あと長い髪とか。

円 私も一番の財産は娘ですね。母子家庭のお母さんだと、家はアパートだし、お金もないし…となっちゃいます。

和泉 財産というと目に見えるものにとらわれがちで、何もないなんて思ってしまうかもしれないですね。目に見えない財産がいっぱいあるじゃないですか。

円 目に見えない財産？

和泉 自分のいいところですよ。掃除が得意だけど、それだけでなく丁寧にやるのが得意とか。必ずいいところがあるんです。その特徴を自分で信じることで自信になっていくものです。お金や組

織、子どもとか目に見える何かに依存するのではなく、自分に依存しなくちゃ。自分を信じることが一番です。

円 それならみんないっぱいもってそうですね。でも目に見えないものはどうやって見つけたらいいのでしょうか？

和泉 一つは仲間と会うことです。みんな、一人ずつ名前を書いた紙を用意して「○○さんのここが好き」というのを回し書きするんです。書き手はわからない。

円 いろんないいところが見つかりそう

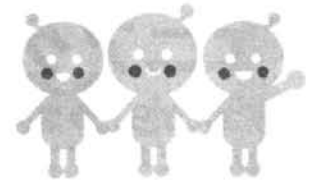


ですね。一人でもできる方法はないでしょうか？

和泉 一人遊びなら紙に書き出すのがいいでしょうね。

円 自分の長所と欠点、とか？

和泉 だれかから欠点に見えても角度を変えたと違って見えるので、欠点とはいわない。二者択一で簡単に割り切れるものじゃないから。「困ったところ」とでもよびましょうか。「私の財産」と「困



「子ども HAPPY 化計画」展開中

ったところ」を書き出してみるといいですよ。

円 それならお正月に一人でコタツでできそうですね。

和泉 自分の保有財産を掘り起こして、それを周りの人に分け与えましょう。そうすると人間関係も豊かになります。エニアグラムでは人付き合い以外に仕事の適性を知ることでもできます。自分は何をするかを決めて向かっていくことが、人間にとって一番大切なことなのではないでしょうか。

円 自分と出会い、道を切り拓くということですね。私も自分を知り、受け入れて少しずつでも変わっていきたいと思います。どうもありがとうございました！

◎プレゼントのお知らせ◎

和泉さんから近著『別れるときの愛』（幻冬舎ルネッサンス）を抽選で10名さまにプレゼントいただけることになりました！「対談記事を読んだ感想・お名前・住所・電話番号またはメールアドレス」を、ハンド事務局に郵送・メール・FAXのいずれかでお寄せください。応募期限は1月31日（当日消印有効）。発送をもって当選の通知とさせていただきます。お待ちしております！

エニアグラムとは

ギリシャ語で数字の9を意味する「エニア」と図を意味する「グラム」、つまり「9つの図」という意味です。

自分を知るためのツールとして、また人間教育に役にたつところから最近では教育者や心理関係の専門家にとどまらず、家庭や職場での人間関係に活かすようになりました。

自分を理解し受け入れ成長し、他人を理解（分析ではなく）し受け入れることができるようになり、

よりよい人間関係、人生を歩むことをサポートするものです。

詳しくは日本エニアグラム学会のホームページをご覧ください。

<http://www.enneagram.ne.jp/>

エニアグラムのタイプチェックをできる無料診断や

「エニアグラム紹介コース」（無料）、毎月一つのタイプをとりあげる「月例研究会」、アドバイザーやファシリテーターの資格取得を目指すコースなど、さまざまなワークショップを開催しています。各タイプの人が執筆するメルマガ（HPから申込み）も生きるヒントや情報満載です。

和泉さんが講師を務めるワークショップも、来年実施予定ということですので、ぜひチェックしてみてください。

【日本エニアグラム学会】

〒105-0004 港区新橋 6-5-4 D I K 新橋 416

TEL: 03-5777-1130 FAX: 03-5777-1130 e-mail: ennea-jp@live.jp

◎和泉さんのブログ「和泉育子の心のシャワー」もおススメですよ！◎

<http://ameblo.jp/izumi-salon/>

『エニアグラム 9つのタイプの特徴』

和泉さんから、9つのタイプの特徴を教えてくださいました。

あなたはどのタイプ？あなたの大切な人は…？解ればもっと上手に付き合える！



★タイプ1

きちんとしたことが好き。自分の考えをしっかりもち正しいことと間違いにすぐ目が行く。自分は正しいと信頼している。納得いかないことには黙っていない、細かいことを気にし過ぎる一面もある。すぐ怒りがこみあげてくる。

★タイプ2

自分の部屋を掃除するより人の部屋を掃除したがる。人のことばかり気にする。親切だけどおせっかい。親切なのは相手じゃなく自分の気持ちを満たすため。ありがたうと言われないと文句を言う。人人が大好きだが、話はじめるとしつこくなる。言葉を重ねて人の顔を見ながら語りかける。認めてほしいから。

★タイプ3

行動的ですぐ目的を作り、達成するために効率的にやることを考え周りを巻き込む。細かい詰めや汚いことはやりたがらない。人の才能や技術はすぐ見つける。説得して計画に人が参加しやすいようにしていく。直観で発言するため誤解をまねきやすい。スターになるのが好き。イメージを何より重視する。

★タイプ4

自分は特別だと思っていて、今は人生のレッスン中でまだ現実ではない。そのうち誰かがやってきて自分の才能を見つけてくれる。白馬の王子様を待っているため現実的に動かない。またすぐには怒りを伝えられず、しばらく抱え込んでいる。やがて悲しくなり、つき落とされたような暗い気分になる。

★タイプ5

まず黙って考える。情報は大切にしたい。検討材料にするが感情は使わない。感情に振り回されるとものごとがあいまいになると思いこんでいるため。人と話をするのは好きではない。人への関心が低い。人よりも動物や天気など自然現象に関心がむく。営業や交渉事は得意とはいえない。一人の時間を大切にしたい。

★タイプ6

誠実な人たちが、臆病なところがあり、不安にかられやすい。上司や組織、マニュアルに忠実。束縛されすぎるのが怖い。しかしみんなの輪にいたい。これ以上荷物を背負えないという思いをもっている。義務感が強い。感情的に立ち入ってこられるのを好まない。今日何してた？等といちいち聞かれるのもいやがる。

★タイプ7

いつも何かを計画して先に楽しみを作り、ワクワクしたい。ときめきも自由も大好き。周りを振り回すが毎日楽しくなければ人生じゃない、もっともっとという気持ちに押され快楽を追いかけてやすい。器用だがあきやすい。他人には悩みを相談しない。憐れまれるのはカッコ悪い。身の周りを飾るのも好き。メニューも数があるのがいい。

★タイプ8

みんなを守る。スケールが大きい。「怖いものはない」といって少しのことでは引き下がらない。大きな世界をみて人を統率するのを好む。自尊心はつねに自分と一体なので、説明しなくてもよいと思っている。尊重されて当たり前。中心にいないと気がすまない。パワーの調節ができないと恐怖を与えることがある。冷静になると度胸がすわる。

★タイプ9

のんびりやっていきたい。時間はいくらでもある。マイペースだが人にも合わせる。受け容れ範囲は大きい。お互いの価値観を大切にするのは、自分も自由に行きたいからである。焦らない。自分の体の中のリズムにしたがっている。なるべく楽をしたい。いい人と言われる。闘争が嫌い。そばにいと温かい。

※正確な診断を受けたい方は、日本エニアグラム学会HPで無料診断や診断票販売（有料）を行っています。http://www enneagram.ne.jp/

円より子の

「のんびり歩」うう「のんびり歩」
女がひとり生きていくのってほんとに大変。辛いことや悲しいことを笑い飛ばして、しなやかにたくましく生きてまいりましょう！

【第一回】ひとりで過ごす正月。

クリスマス・お正月と、この時期ひとりが身にしみるという人、いますか？出かける、家族連ればかり目に付いてなんだか幸せそうに見えて（ホントは違うかもしれないけど）、ちょっと嬉しそうな顔が目に付いたり。ふだんは一人も気楽でもないものだと思っているのに、と。
でも、こんなに休みがあつて誰にもじゃまされないなんて、そして自分のためにフルに使える休日が何日もあるなんて、最高！何時に起きてもいいし、眠くなれば昼寝もできる。

何年か前、大阪の竹川弁護士の家泊めてもらった時、マッサンジチエアで気持ちよくなった私は、さっそく我が家にも買いました。ぼおつとマッサンジチエアをもらいながらテレビを見ているといつのまにかウトウト（私の体は12時間くらい睡眠時間が欲しいタイプなんです）。

昨年の手帳を見たらほとんど休日がなくぶつ続けで働いていて、やっぱり体がストを起こしてます。毎日本も読まずこんな寝ていていいのかなあと思いつつ、『いいの、ちょっと働きすぎたもの。それに老眼で本を読むのはきつすぎる』と心で言い訳。

ただあまりだらだらしていると立ち直れない気もする時に、うまくしたもので、猫のペチャが「おなかすいた」と叫びます。「早く起きて」とか「遊んで」とかけっこう私のぐうたらをどがめるんです。

たつぷり眠ると気持ちもゆったり。テーブルクロスを新しくしてろうそくに灯をともし、漆塗りのお椀で京風のお雑煮。二日はもちろんマッサンジチエアに座って箱根駅伝を楽しみます。観たい映画もたいていはレンタルビデオ。あなたのお正月もあつという間に過ぎ、もっとと休んでいたい、一人がいいと思うのではないですか。

～会員さんからのお手紙ご紹介～

「子どもに平等な教育の機会を」



母親である私が、今一番心配なのは子どもの教育です。うちの息子は小学6年生で、中学受験をしたいと言っています。中高一貫で落ち着いて取り組める、自分に合った学校で勉強したいと言っています。男子校にも興味をもっています。だから私は公立の中高一貫も視野にいれるよう動めています。勉強の内容もよく高校までいれるし、入学金なども公立はなくありがたいのです。しかしまだまだ数は少なく場所も遠く、公立ですが試験もあります。今は、正直塾代の支払いでいっぱいですが、出来るなら息子の好きな所に入れてあげたいと思います。でも経済的にあてなどあるわけはありません。遊びにいけなくなってもいいから塾だけはかかせてと息子はいいました。そんな彼の気持ちを思うとどうにかしてあげたいです。勉強を大事に思う彼の気持ちを思うと何処か受けさせてあげたいと思います。

子ども達は公立の中学に進むことを「よっぽど馬鹿か貧乏だから」と言っています。一方小学校では、受験は個人的なことと言います。でも実力テストといって国単位のテストの結果では塾に行っている子と行っていない子との差が激しく真ん中が少ないのです。遅れている子どもは家庭で勉強をみるように言われますが、母子家庭ではとてもそんな余裕はありません。また公立中学の入学式で「受験に向け遅れをとらないよう各家庭で準備をお願いします」と校長先生が話したというのを聞き、学校が見放しているようで驚きと腹立たしい気持ちと不安がふくらみました。

公立の一般校は学力が低下していて、中学から高校に入る為に、みんな塾に通わなくてはならず、塾代が月に何万円、年間で何十万、何百万円とかかるのが当たり前です。公立に入っても塾代がかかり私立の月謝と変わらないからと、入学金の用意ができる余裕のある家庭は中学から私立にいきます。先々の子どもの負担を考えると、この方がずっと楽で高い学力もつきます。また女子に比べ男子校は少なく、中学からの方が入りやすいという事もあるのです。そんなわけで子どもたちは早い内から否応なしに受験の波にさらされます。

公立の中高一貫校が出来たのも教育の格差の広がりにつながつたと私は考えています。公立なのに入るのに試験があり、レベルは私立受験と変わらず、無論受かる子どもの多くは塾に通う子ども達です。条件は良く、月謝も安く授業も高いレベルで大学に向けてのゼミ対策も私立並に充実しています。だから倍率も高いところでは16倍ととても難しく、こんな公立中学が義務教育といえるのでしょうか？

こういったことからみても子どもたちの教育は、家庭の経済状況に大きく左右されてしまうだけではなく、学校間格差と

都内在住 45 歳。小学 6 年生の息子をもつひとり親の母。

子どもにも学校にも体当たりで頑張っています。

☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆

いう現実を早くも中学で味わうことになります。

公立中学に入り、塾に通うこともできず成績の低い子は高校に入らず、おまけに夜間中学も今は数が減っているので倍率が上がっていて、望んでも入れるとは限らず、中学生難民が現実に出ているということです。当然この就職難に中学しか出ておらずスキルのない子は、就職もかきません。私の知人も、大工の修行などにいくしかない子どもに話したと言っていました。小学生や中学生の時点で今の子供は将来が自由に選べません。どんな家庭に生まれたか、つまりは親の経済力が、学校や受けられる教育に影響してしまう現実には耐え難い気持ちになります。経済力のない母子家庭の親にとってこれ程辛いことはありません。

私の周りにも家計が苦しくても塾に通わせて悲鳴をあげている人が何人もいて、せめて教育にかかる負担が楽になればと言っています。経済がますます苦しい中で将来への不安と教育費で苦しんでいます。現実的な塾代など弱い立場の母子家庭の教育費の支援を今すぐに始めて欲しいと思います。子ども達が望む学校に入り高いスキルを身に付けることは社会の将来にも結び付きます。「選ばれた子どもや裕福な家庭の子どもだけが教育を受けられる」と私の周りの親は口を揃えて言います。誰もが普通に生活出来て、望めばより高い教育を受けられる事が何よりも大事だと思います。

ピンチの時、友達に頼み込んで塾代を都合してもらったこともありました。知っている母子家庭のお母さんも同じです。元の日曜に、嫌だけど直接会って、駄目元でお金の工面を頼み込んだとか。でも分かります。駄目でも他に手がないのです。息子は塾代や入学金を心配して、だんだん自分が好きなことを選ぶより、それが自分に不利な結果でも家の事情を選ぶしかないと感じてきているようです。「オレだって普通の家に生まれたかった。何も心配しないで済む家に」と言われたこともあります。へこみました。そばでずっとみているので子どもも不安なんですよ。本当に母子家庭は毎日が精神的に戦いです。気が休まる日はありません。「お母さんの人生って大変だね」といきなり息子に言われた事もありました。子供なりに心配しているんだなと思いました。私だけでは限界があるなと心から感じる毎日です。



事務局より返信

教育制度を変えていく必要性を改めてひしひしと感じる、お母さんの生の声をお寄せいただきましてありがとうございます。息子さんの希望をなんとか叶えてあげたいですね。制度が変わるのを待っている間に合わないの、直接的な支援活動をされている団体を2つご紹介させていただきます。

①ガクボラ <http://www.kidsdoor.net/gakubora/>

ボランティアの大学生が学習困難な状況にある子どもたちを無料または低価格でサポートしています。

中学3年生向けに無料の都立高校受験対策講座「タダゼミ」を開講したり、さまざまなイベントを実施。

問合せはメールのみ gakubora@kidsdoor.net

②アンファンパレット <http://enfant-palette.com/>

離婚・再婚家庭に育つ子どもの遊び相手、対話相手となる若者を派遣、小・中学生を対象に家庭に訪問し完全マンツーマンで指導する家庭教師を格安料金で実施（料金：1回1時間1500円 月1回から）。

問合せはHPより（お困りの方はハンド事務局まで）



ハンドの会活動報告(10～12月)

ハンドの会は、会員のみなさんと作り上げていくネットワークです。
こんなことがしたい！あんなことをしてほしい、などありましたら事務局
までご連絡ください。みんなで知恵を出しあえば、気持ちを分け合えば、
寒い冬もへっちゃら♪手に手を取りあって、前に進んでいきましょう！

10/23 東京ニコニコ離婚講座レポート

「児童虐待からお母さんを守れ！ひとり親をひとりきりにしない知識と情報・ネットワーク」

10月23日(土)、ゲストに児童虐待防止全国ネットワーク理事長の吉田 恒雄(よしだつねお)さん、社会福祉法人杉の子会 エイビイシイ保育園園長の片野 清美(かたの きよみ)さんをお迎えして麹町区民館で開催しました。

大阪二幼児遺棄致死事件など、ひとり親のお母さんが子どもを虐待して死に至らしめるという悲しいニュースが新聞やテレビをにぎわしています。そんなむごいことをする状況にお母さんを追い込まないためにはどうしたらよいのか、専門家お二人と円代表、会場の参加者がいっしょに考えました。

まず虐待が起きる背景として、ますます増える離婚と、30年一向によくならない母子家庭の経済状況があること、いまだに結婚を人生の全てと考えがちな日本文化があることを円よりお話ししました。吉田さんからは年間50～70件にも及ぶ虐待の現状や特徴、防止法について専門家の観点から伺いました。悲しいことですが実母による虐待が一番多く、身体的虐待は幼児がほとんどを占めており、年齢により虐待の内容は異なっています。要因としては、親のストレスが子どもにむかってしまっていること、そういう状態に親がなったときに相談したり手をさしのべてもらえる環境が、ひとり親にかぎらずなくなっていることがあるということです。行政も、「こんにち赤ちゃん事業」や訪問指導、保育所入所、住宅支援など、子育てを応援し虐待を防止するための施策を行っているが、それだけではカバーしきれません。子育てに困っている人がいたら声をかけるとか、通報をするなど地域が見守ることが大切。本人も、抱え込まずにバンザイをして



助けを求め、児童相談所や保健センター、民間の支援機関に頼るとか、子育ての仲間作りをするなど、我慢をしないことが一番ということです。

片野さんからは子育ての現場経験から、行政の手が届いておらず、親の就労支援や自立支援がもっと必要とされていること、また地域が親を支援するならば、支援された親が今度は地域を支援する側に育ってくれることをお話いただきました。

参加者の方から、日本の「耐える」ことを賞賛する文化がお母さんに一人で抱え込ませているのではないかと、地域での支えあいが必要、児童相談所が本来の子育て専門機関としての役割ではなく親子分離の機関になっている、などさまざまな意見が活発にかわされました。

行政や誰かが動くのを待つのではなく、ひとりひとりが自分にできることを今すぐに始めれば児童虐待は近いうちにきつとゼロになるはず。 (満木)



マメ知識

公的支援をいくつかご紹介します。一人っきりで抱えず、勇気を出してバンザイしてみてください！

① 母子家庭等日常生活支援事業

母(父)子家庭・寡婦が、修学等の自立を促進するために必要な事由や疾病などの事由により、一時的に生活援助・保育サービスが必要な場合や、生活環境の激変により日常生活を営むのに支障が生じている場合に、家庭生活支援員を派遣して食事や身の回りの世話などを行う。
【お問合せ先】お住まいの市町村福祉担当課

② ファミリーサポートセンター

地域において育児や介護の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、助け合う会員組織で、設立運営は市区町村が行っています。

【お問合せ先】お近くのファミリーサポートセンター

(財)女性労働協会のHP から検索できます。 <http://www.jaaww.or.jp/index.php>

③ 子育て短期支援事業

(1) 短期入所生活援助(ショートステイ)事業

保護者が、病気などにより一時的にお子さんの養育が困難になったときにそのお子さんを児童福祉施設において一時保護し、養育の支援をします。

(2) 夜間養護等(トワイライトステイ)事業

保護者が仕事などで帰宅が恒常的に夜間にわたる場合や休日に不在などの場合等で、お子さんの生活指導等養育面に困難が生じる場合、児童福祉施設においてお子さんに生活指導・食事の提供等を行い、養護します。

【お問合せ先】お住まいの市町村福祉担当課

